

学校法人明治学院 2007 年度事業計画

1. 学校法人明治学院の事業計画

明治学院は中・高・大学を擁する総合的な伝統あるキリスト教主義の私立学校として、140年余にわたって培ってきたミッション・建学の精神である「キリスト教に基づく人格教育」に基づき、Do for Others の実践を通じた教育・研究の更なる充実を推進する。

大学は自らの教育理念を実現するために全13学科それぞれの教育目標を学内外に対して示し、2007年度は具体的な教育・研究成果をあげることを目指す。また、中学・高等学校は明治学院大学との一貫校としての特性を最大限に発揮するとともに、学力の一層の向上を目指す。

2007年度は明治学院の象徴ともなっている白金チャペルに耐震補強と復元的な補修工事が完成するとともに、パイプオルガンが更新される。そのために完成年度の2007年度末までにさらに多くの同窓生、教職員、学外者からの募金への協力を得るように努める。

私立学校法の改正の主旨に沿って、学校法人における管理運営機能の強化を図るとともに、財務情報の公開により、学院関係者への説明責任を果たすことに努力する。また、学院の財政基盤を強化するために、金融資産の堅実な運営、(株)明治学院サービスの有効活用、有利子負債の圧縮と借入利息の縮減を図る。

2. 各部門別事業計画

【大学院・大学】

〔学部・学科の新增設計画〕

1. 大学院

2007年4月(改組・新設)

心理学研究科は修士課程のみであるが、博士課程への需要は高く、高度な専門性を備えた研究者・指導者を育成することが喫緊の課題。心理学研究科修士課程を博士前期課程として改組し、博士後期課程を設置する。博士後期課程の1学年収容定員を4名とする。

2. 大学

2007年4月の改組・増設はなし

〔教育・研究における重点分野〕

1. 大学院

7研究科11専攻からなる大学院は、学問への探究心旺盛な学生の養成を目指している。

心理学部では心理学の幅広い基礎的知識を教授するとともに、心理学的素養に基づいて人々のよりよい生き方、社会のあるべき姿を希求し、その実現のために貢献できる人材育成を目的としている。大学院博士前期課程においては、学部の教育理念と教育課程に立脚し、より高度な専門的人材育成を目指す。大学院博士後期課程においては、さらに専門的な立場から研究者および人材育成の指導者を養成することを意図している。

法科大学院は、2006年度新司法試験8名合格の実績(合格者8名は39私立法科大学院中13位、合格率44%は高い教育力を示すものとして評価されている)を踏まえて、一層の教育の充実を図る。特に実践的な問題発見・分析・解決能力を養う「リーガル・クリニック」など、明治学院の教育理念に沿った本格的な臨床法学教育を展開する。

2. 大学

全学科別に「教育目標とアドミッションポリシー」を社会に対して示し、「戦略的教学改革プログラム2006」に基づく中・長期を展望した教学改革を推進する。

2006年4月に開設した経済学部・国際経営学科に、2007年度からCSR（企業の社会的責任）に関する冠講座を設置しさらなる研究・教育の充実と強化を図る。

文部科学省の高等教育の発展と活性化をねらいとする「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」に採用された社会学部の「都市部における地域社会の活性化への取組」を、2005年度から2007年度までの3年間、補助金を活用し一層の研究・教育を強化していく。

明治学院大学の教育理念を実現するために、2007年度も引き続きボランティア活動・国際交流・キャリア形成に力を注いでいく。

学生によるボランティア活動

文部科学省の2003年度「特色ある大学教育支援プログラム」に「大学教育における社会参画体験の取組と実践 ～ボランティアセンターによる教育支援の試み～」というテーマで選定され、現在はその実践に取り組んでいる。

経済学科、経営学科、社会福祉学科、政治学科、国際学科の正規授業の中で社会参加を柱とする科目も設けている。

2006年度からコーディネーターを増員し、また海外ボランティア活動、海外NPOでのボランティア体験を実施している。

2007年度も今までの実績と経験を踏まえ、学生によるボランティア活動のパイオニアとしてリーダーシップを発揮しながら、引き続き学生支援システムの充実と強化を図る。

国際交流の充実

世界13カ国、20校の海外協定校へ、活発な派遣・交換留学を実施。年間180名以上の留学生を派遣し、100名以上の交換留学生を迎えるといった大きな実績をあげており、交流人数は私立大学の中でもトップクラスに位置している。

また、私費外国人留学生（正規課程に在籍）も113名（うち大学院6名）となり、前年度より40名増加している。

2007年度においても、協定校の増加や短期・長期派遣・交換留学プログラムの充実を図りながら、国際色豊かな環境での活発な交流を通して、真の国際性を身につけられるシステムを強化する。特に海外から受け入れる留学生数の増加を実現するための環境整備 海外へ送り出す留学生数の増加と学生の能力向上を実現するためのシステム構築を推進する。

学生のキャリアデザインを総合的に支援

学生の社会人としての人格形成を第一の目標に掲げ、その実現のため学年ごとにきめ細やかなキャリア形成支援・就職支援を行う。1・2年次生には、早い段階からのキャリア形成意識の喚起をはかるためのキャリア形成講座を実施。

3年次生には、6月に実施する第一回就職ガイダンスで夏休み活用法・就職活動の流れ等を説明し、9月以降に第二回・第三回ガイダンス、職学校、就職マナー講座、マスコミ就職講座など、希望職種の絞込みや、具体的な就職活動の方法などを理解できるような多種多様な講座を実施する。OB・OG交流会や、内定した4年次生による3年次生への4年生内定者を囲む会などを実施して、多角的・包括的な就職支援プログラムを提供。

同時に、個別就職相談・模擬面接などの個別対応の更なる強化と充実をはかる。

大学院生と留学生および教員・公務員への支援については今まで以上に強化する。また、各学科のキャリア形成科目設置計画を支援し、設置後はその科目の運営に協力。

横浜キャンパスについては、分室機能を強化しサポート体制の充実をはかる。

資格取得サポート体制の強化

学生がやりたいことをはっきりと見据えたうえで、そのために必要となる勉強や資格取得をサポートする体制を強化する。

諸資格（社会福祉士、精神保健福祉士、博物館学芸員、社会教育主事、社会福祉主事等）の取得、および国家試験（公務員試験、司法試験、行政書士試験、公認会計士試験、税理士試験等）受験のための課外講座や、語学関係（TOEIC ,TOEFL 等）の資格支援講座の充実と強化を図る。

高大連携の充実

高大連携は大学のブランド力強化に裨益するため、法学部・社会学部・国際学部で実施している高校（田園調布・舞岡・横浜桜陽・氷取沢・明治学院）と大学との連携について、制度と教育の一層の充実を図る。

〔学生・生徒の募集計画〕

1. 2007年度大学院募集計画

研究科	専攻	博士前期課程	博士後期課程
文	英文	12	2
	フランス文	10	5
	芸術	10	5
経済	経済	10	3
	経営	40	3
社会	社会	10	2
	社会福祉	10	3
法	法律	15	5
国際	国際	10	3
心理	心理	教育発達臨床	4
		心理臨床	

計 192名
(前年度比4名増加)

2. 2007年度法科大学院募集計画

研究科	専攻	専門職学位課程
法務職研究科	法務専攻	80

(前年度同数)

3. 2007年度大学募集計画

学部・学科		募集人員
文	英文	260
	フランス文	120
	芸術	125
経済	経済	290
	経営	180
	国際経営	140

社会	社会	230
	社会福祉	240
法	法律	280
	消費情報環境法	175
	政治	120
国際	国際	270
心理	心理	200

計 2,630名(前年度同数)

【2007年度入試の改善点】

2007年度入試からA日程・初日に「全学部入試」(同一問題による全学部・学科の入試)を導入し、志願者に受験の機会を増やす。これによりA日程において同一学科を2度受験できるようになる。

経営学科と国際経営学科が大学入試センター試験に新規に参入する。

大学入試センター試験後期を導入し、B日程の試験を受けやすくする。

〔その他の特記事項〕

横浜キャンパスにおける教育環境の整備

受電施設上の空間を利用した校舎建設

老朽化した施設の更新による学生の生活環境の向上

居心地のよい空間とするための全般的な条件整備

狭隘化した図書館施設の整備拡充の準備に着手

「FD・教員評価プログラム2006」と「戦略的教学プログラム2006」の推進

ブランディング・プロジェクトの推進

校友センター設置にともなう校友サポートシステムの構築

学生の課外活動(スポーツおよび文化)に対する支援の強化

芝浦工業大学との連携、および大学学外機関との連携強化(「みなと環境にやさしい事業者会議」小諸市)。

港区との「チャレンジコミュニティ大学」を2007年4月に開校

大学女子学生専用アパートの開設(2008年2月)と入居の準備

高輪校地の利用計画に着手